

わ
っ
か
WAKKA

鳥取市のまちなかを
応援する情報誌

2024

SPRING

vol.

52



特集 料理を通して、人生の喜びを

FREE
ご自由にお取り
ください

料理を通して、人生の喜びを

三角公園の角に、黄色い壁の小さなトラットリアがある。イタリアで修行を積み、地元に戻って店をかまえる山内智紀さん。食材選びから妥協のない仕事と、その日その時、その人にとっての最良を創り上げる料理は評判を呼んでいる。「料理は、その地にある暮らしや文化、食材を表現すること。そこにうれしい気持ちや明日への活力が生まれる。そういう人のつながりの中で、人生の喜びのようなものを感じてもらえたら」。今日もまちなかで、その腕を振るう。

「食べる芸術」に魅せられて

サッカーに打ち込んだ高校時代。料理を振る舞っては「うまい、うまい」と仲間たちが喜ぶ光景を見るのが好きで、心地よかった。周りが大学進学を目指す中、「自分はあの光景を仕事にしたい」と決めた。

「子供の頃から料理が好きで。母が言うには、エビフライを作る時には必ず呼んでもらっていたそうです。白いパン粉が茶色く揚がる化学変化が面白く、しかも、それを人が食べて消えてしまう。工作とか他の創作とも違うし、子供ながらに好奇心をくすぐられました」

「食べる芸術」ともいわれる料理。その創造的な世界に無限の可能性を感じてきた。高校卒業後に居酒屋の

アルバイトから始め、大阪の調理師学校進学を経て星付きレストランで働いた。「やるなら本場に行こうと決めて、洋食ならフランスかイタリア。サッカーが好きだったから」。直感のまま、23歳でイタリアのモデナに渡った。

飲んできた水、吸ってきた空気

「当たり前ですが、イタリア料理は、イタリアで生まれたものを現地の人たちが愛して大事にしてきたもの。カルボナーラひとつとってもみんなが熱く語る。うちの母ちゃんの味はこうだ、とか。料理は、そこに生きる人たちがいて、生まれる文化や人の営みそのものなんですよね」

そこで触れた料理の本質が、今も山内さんの真ん中にある。「お前が飲ん

FARO trattoria
山内智紀さん



できた水や吸ってきた空気がある場所に帰れ。そこで料理を表現したらいいと師匠に背中を押されて帰鳥。

鳥取に戻ったその足で今のお店の場所が空いているのを見つけ、「ここでやるう」と決めた。数年後、『FARO trattoria』を開いた。

薄明かりの中、モデナのラジオが流れる店内。イタリアのナチュールワイン、当時毎日作っていたパンや手打ちパスタなど本場を感じるものと、鳥取の食材の良さを引き出す料理の数々。イタリアで学び、鳥取で料理をする自分に何が表現できるだろうか、と日々考える。

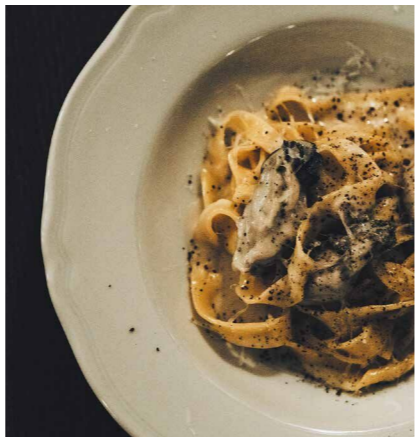
「自分が体験し、良いと思ったものを出しているの、答えは常に自分の中にある。だからどう生きるのかが大事で、普段から何をする時でもなぜそれをするか、選んだか、理由を考えます」



てもらいたい。イタリアや鳥取の空気を感じてもらうことができるかもしれないし、その人の感性に呼びかけることができるかもしれない。「その本質がブレなければイタリア料理でなくてもいい」。味にこだわることはもちろん、大事なことはお客さんに何を届けるかだと言う。

「鳥取の強みは、人の近さ。僕が生産者さんと大事にしているのは、常に緊張感を持ってやること。生産者にも大事にしている思いがある。僕はそれを汲んで料理で伝えるから、もっと良いものを作つてよと。あなたのほうれん草をどこでもあるほうれん草じゃなくしたい、ということ。鳥取は、その関係性を数少ない生産者と築ける。そして、お客さんに喜んでもらえ、周りまわって、この街の食の底上げになると思います。」

その一つ一つを大切にしたい。その先に、感動が生まれる。



料理を通して生き方を

本質と向き合う哲学者のような言葉の中に、山内さんらしさがある。

「子供たちにも食べてもらいたいです。いろんな食べ物が溢れる中、食べるものを選ぶことはどう生きるかという選択でもある。その経験はきつと大切だと思ふ。だから、お子様プレートは一番時間がかかっても手を抜きたくないです」

若者も気軽に店に来てワインを飲めるように、夜9時以降のDAYSも始めた。料理のこと、人生のこと。つい深夜まで話しこむこともある。

「若者が帰ってきたい街にしたい。鳥取で料理をするのは難しそうとか、したいことを諦めるとか、してほしくない。ここでもこんな風に見えるんだ、

お店をやるうかなと思える選択肢を作っておくから、という気持ちで店をやっています」

FAROは、イタリア語で「灯台」。鋭くも優しい眼差しで、日々、料理と向き合う。誰かの人生の灯りとなるように。



FARO trattoria
鳥取市瓦町521 TEL: 0857-30-7766
営業時間: 18:00~オープン 定休日: 日・月

farotrattoria faro_trattoria



Galleryそら presents

わたしの
好きな
まちなかの
動物
遊具

作家さんの目線で鳥取のまちで見つけた『好き』を、作品でご案内

動物
遊具



イラストレーター
おっぱいさんの
好きな動物は...

『元魚町公園』こちらも智頭街道を横道に入る小さな細長い公園。しまうまや小鹿、ひょうきんな顔のリスとパンダがいます。大きな桜の木があるのでいつかここでお花見をしてみたいですね。

『玄好町公園』は袋川近くの大きな公園、真ん中には休憩できる東屋があり、大きな口をあけたカバとパンダがいます。珍しい大きな鉄棒もあります。

『幸町棒鼻公園』は市役所の横にある公園で大きな滑り台とファンシーな謎の生き物にみえる遊具が！大人が楽しめる健康器具ゾーンもあります。

ベンチに座って景色やゆるい動物達の遊具を眺めて、自然豊かな鳥取の公園をこれからも楽しみたいですね。

皆さんは公園で何をしますか？

お気に入りのぬいぐるみを連れてのどかな写真を撮るのが趣味で、色んな公園に足を運び、おやつを食べたりのんびり過ごす休日を楽しんでいます。その中でもお気に入りの公園には必ず、いろんな動物の『遊具』があるんです。

『なかよし公園』はわらべ館の近く、久松山が綺麗に見える住宅街にあり、L字型の公園の入り口にはまんまる石で出来た二匹の亀がお出迎え。ぽかんと空いた口がなんともキュート。

「おっぱいさんはイラストレーター？」とお聞きすると「紙もの作家」という答えが返ってきます。シールやレターセット、ポチ袋などミニマムでかわいい文房具や雑貨を手作りされています。自宅でコツコツと制作しているのに実はアウトドア派。自転車や山登り、キャンプなどをご夫婦で鳥取を楽しんでいるようです。今回はそんなおっぱいさんならではの視点で紹介してくださいました。暖かくなったらこの動物遊具のある公園を巡ってみたいですね。

おっぱいさんの紙もの雑貨はギャラリーショップそらに常設販売しています。7・8月はしゃんしゃんグッズ関連のおっぱいさんの一筆箋は大人気です。

Galleryそら / gallery shop SORA
鳥取市栄町658-3
TEL:0857-29-1622

ギャラリーそら



Galleryそら オーナー 安井敏恵

まちなかの取り組みをご紹介します / とっとりまちづくり

市民政策コメントを募集します！

鳥取駅周辺再生基本計画(案)にご意見をお寄せください！

鳥取市では鳥取駅周辺の再生に向け、官民連携の取り組みを進めており、令和5年8月には「鳥取駅周辺リ・デザイン会議」を設立し、駅周辺の再生に向けた話し合いが始まっています。このたび鳥取駅周辺の整備方針や整備イメージをまとめた「鳥取駅周辺再生基本計画(案)」を作成しました。目指す未来像の実現に向けて、駅に集う人のワクワクが止まらない鳥取駅周辺の再整備について、みなさんのご意見を募集します。



- ▶資料公開 本庁舎総合案内、本庁舎まちなか未来創造課、駅南庁舎総合案内、各総合支所、本市公式ウェブサイト
- ▶公開期間 4月22日⑤～5月13日⑤
- ▶提出方法 様式は問いません。住所・氏名を明記のうえ、郵送、ファクシミリ、電子メール、本市公式ウェブサイト(電子申請)、持参のいずれかで問い合わせ先まで
- ▶提出期限 5月13日⑤ 17:15 必着

鳥取駅周辺再整備情報についてはこちら→



まちづくりワークショッププログラム@鳥取 vol.3を開催しました！

鳥取市では、中心市街地の空き家・空き店舗などの遊休不動産を活用し、エリアの価値を高め、まちを再生する「リノベーションまちづくり」に取り組んでいます。この取り組みのひとつとして、「都市部人材」と「地元人材」が「ユニット」を組み、リノベーションするための事業案を提案するワークショッププログラムを実施しています。

今年のテーマは『公共空間』。2チームに分かれ、対象エリアでの提案を行いました。



参加者インタビュー
森田さん (UNIT ③ 参加者)

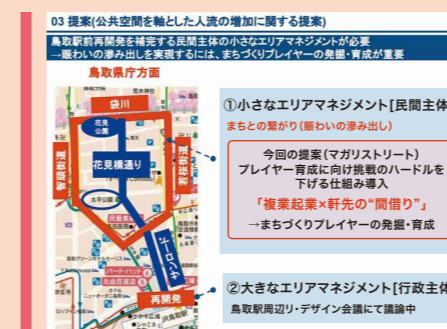
UNIT ① 対象エリア：袋川沿いエリア『袋川周辺NEO商店街』



空き店舗を活用し若者世代にマッチしたレストランの開設、エリアの周遊性を高めるための情報発信(まちあるきMAP作成)、モビリティ整備(レンタサイクル)、滞在空間の創出(まちなかアウトドアカフェ)の事業アイデアが提案された。

- ①参加されたきっかけ
大学進学を機に地元である三重県を離れ、卒業後も鳥取で過ごすことを決めた中で、若いうちからなにか地域に貢献する活動を始めたいと思い、参加しました。
- ②参加してみた感想や意識が変わったこと
まちのことを真剣に考える中で「まちの人から求められていること」と「あったら良いな、やりたいな」と思うこととの乖離があり、その乖離を学ぶとともに、どう埋めていくかを考える機会となりました。

UNIT ② 対象エリア：花見橋通りエリア『マガリストリート』



現在素通りしている朝の時間帯の通勤客に対し、朝食ブースによるおにぎり等の軽食提供アイデアを提案。さらにコミュニティ構築によるまちづくりプレイヤーの発掘・育成や不動産を間借りするマッチングプラットフォームの構築、さらには民間を主体とした小さなエリアマネジメントを目指していく方向性が提案された。

- ③今後チャレンジしてみたいこと
まちの人とのヒアリングを通して、関係性を築いていくとともに、自身もまちの人として馴染めるような活動を続けていきたいです！

◎お問い合わせ先：鳥取市 都市整備部 まちなか未来創造課 鳥取市幸町71鳥取市役所本庁舎5階53番窓口
TEL:0857-30-8331 FAX:0857-20-3953 E-mail:machinakamirai@city.tottori.lg.jp

2024年 春～夏 まちなかイベントスケジュール

- 開催中～3/31日 🍷🍷『とっとりまちあそびスタンプラリー』
📍 風紋広場、わらべ夢ひろば、鳥取城跡 擬宝珠橋 📍 鳥取市
- 開催中～3/31日 🛍️『マキナツさんの
gallery shop SORA ハンドメイドレッスンバッグ2024』
- 開催中～3/31日 🛍️『まえかけ yumizu サカタマユミ・手刺繍
gallery shop SORA mitimiti サカタミチヨ 春の二人展』
- 開催中～4/5日 🌸『桜ライトアップ』
📍 鳥取城跡、久松公園、袋川桜土手 📍 鳥取市他
- 開催中～9/1日 🎨『Craftsmanship-世界の民藝-』
📍 鳥取民藝美術館 📍 (公財)鳥取民藝美術館
- 3/31日 🍷🍷『とっとり春のパンまつり2024』
📍 鳥取東照宮(標谿公園)
- 4/6日～5/12日 🖼️『古代エジプト美術館展』
📍 鳥取県立博物館 📍 新日本海新聞社、鳥取信用金庫、古代エジプト美術館 渋谷
- 4/14日 🎬『映画「土を喰らう十二月」上映会』
📍 鳥取市文化ホール 📍 クララとクロダのひよこリシネマ
- 4/26日～29日 🎵『ジャズ×アート展』
📍 ギャラリーそら 📍 鳥取JAZZ実行委員会
- 4/27日、5/4日、25日、6/22日、7/27日 🍷🍷🍷『鳥取城跡 ときめきマルシェ & 鳥取城跡ライトアップ』
📍 鳥取城跡 久松公園 📍 (一社)鳥取市観光コンベンション協会
- 4/28日 🍷🍷『ちゃれきんぐわんぱくパーク(仮)』
📍 鳥取駅前太平洋線バード・ハット 📍 ちゃれきんぐ(株)
- 4/29日 🍷🍷🍷『第47回鳥取市花のまつり』
📍 [歩行者天国]本通り・若桜街道 📍 鳥取市花と木のまつり実行委員会
- 4/29日 🍷🍷『川端賑わい日』
📍 川端通り 📍 川端界隈活性化協議会
- 4/29日 🎵『鳥取まちなかJAZZ 2024』
📍 本通路上(歩行者天国)、サンロード、NOHAS、麒麟スクエア 📍 鳥取JAZZ実行委員会
- 5/5日・6日 🍷🍷『鳥取古着フェス』
📍 風紋広場
- 6/2日 🍷🍷🍷『いなばのお袋市』
📍 鳥取駅前サンロード 📍 新鳥取駅前地区商店街振興組合

※イベントは、中止や延期、内容等の変更が行われることもありますので、ご了承ください。
最新の情報は、わかWEBサイト・SNSでご確認ください。

【わか設置提携店】(2024年4月現在)

- ①こむ・わかさ、②五臓圓ビル、③鳥取画材、④tottoriカルマ、
⑤上田ビル、⑥NOLLY&THENATURES、⑦絹の館サービス
呉服店、⑧不真面目商店、⑨caféSOURCE、⑩ファミリーマート
パレットとっとり店、⑪まちバル鳥取、⑫Marching bldg.、
⑬ギャラリーそら、⑭オーガニックスタイル水越屋、⑮鳥取市
移住・交流情報ガーデン、⑯ジュースパーめじろ、⑰Y Pub &
Hostel、⑱谷岡薬局、⑲#砂鳥ビル、⑳丸由百貨店、㉑シャミネ
鳥取、㉒隼lab.

WEB わか WAKKA WEBサイト・SNSでも情報発信中!



WEB わか ④ わか～鳥取まちなか情報～ ④ @waka_tottori

わか52号取材先MAP



[表紙写真] 「FARO trattoria」にて山内紀智さん 撮影／藤田和俊

